

参加報告書

SEMICON® JAPAN

群馬大学大学院 理工学府
電子情報・数理プログラム
小林研究室 博士前期課程 二年生
熊 軼

参加イベント

セミコンジャパン 2017 <http://www.semiconjapan.org/>

開催場所

東京ビッグサイト、東展示棟・会議棟

開催期間

2017年12月13日(水) - 12月15日(金)

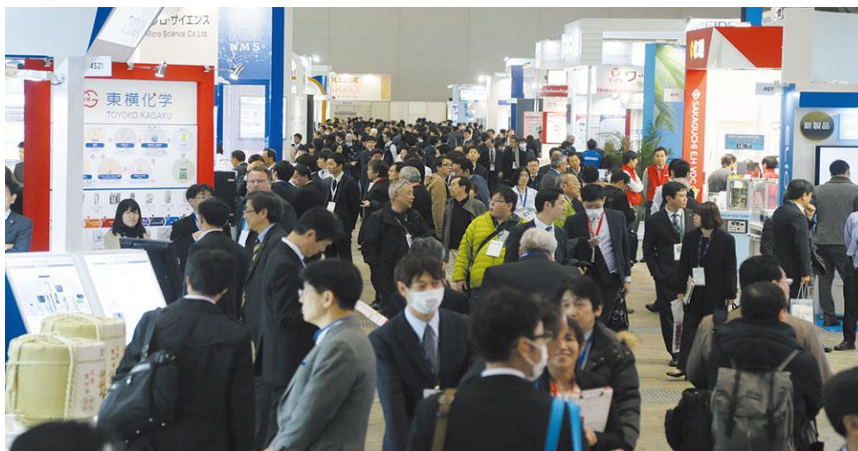
3日間共通 10:00-17:00

主催機関

[SEMI](#)

イベント概要

SEMICON Japan は今年で 41 回目の開催となる世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーン総合展示会です。その核となる半導体製造装置・材料については前工程から後工程までの全てを網羅する国内唯一の大規模国際展示会となります。毎年たくさんの方が来ており、今年も展示会来場者数は 67,613 名もいました。来場企業では、750 社以上があり、非常に盛んでした。



空前の盛況

展示ゾーン・特別展

◎前工程ゾーン

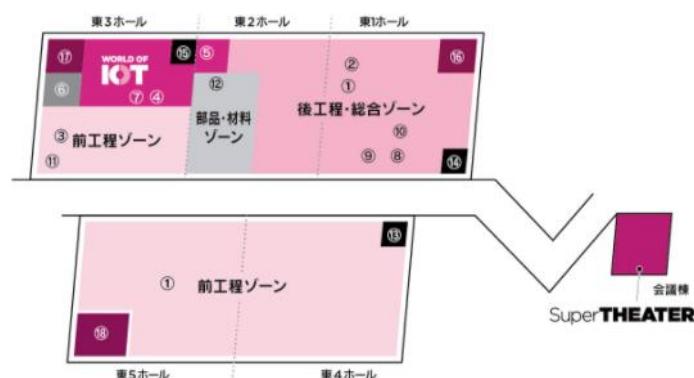
エレクトロニクスデバイス製造の設計から、ウェーハ製造、ウェーハプロセスまでの製品とサービスを表示

◎後工程・総合ゾーン

エレクトロニクスデバイス製造の後工程、あるいは前工程と後工程にまたがる製品とサービスを表示

◎部品・材料ゾーン

エレクトロニクスデバイス製造に関連する部品および材料を表示



展示ゾーンマップ

群馬大学小林春夫研究室ブース

去年に続き、今年も小林研究室は展示することになって、私は幸いにもセミコンジャパン2017に参加させていただきました。開催期間が三日間あり、研究室のクラスメートの姚さん、サハンさんと一緒に、一人一日間ずつ、それぞれブースの説明者を担当致しました。研究室の展示内容では、五つのテーマがあってそれぞれポスターで展示しました。具体的には、下記の通りです。

栗原さん：Electron Mobility Modeling of AlN/GaN MIS-HEMTs with Embedded Source Field-Plate Structures

小島さん： $\Delta \Sigma$ デジタル・アナログ変換器のデジタル信号処理を用いた線形性向上アルゴリズム

田村さん：高周波信号処理用アナログヒルベルトフィルタの理論検討

莉乃さん：90nm NMOSFET の速度飽和パラメータ新抽出方法

町田さん：異なる周期をもつ非同期的な2つの正弦波を用いた時間デジタル回路

私は研究室のブースに立っていた間にローム社の社員さんに出会いました。その方はAD変換の分野をやっていて、小林先生の研究をよく知っているらしいです。

未来 COLLEGE セミナー

今回のセミコンジャパン 2017 の会場には、未来 COLLEGE という学生向けの半導体関連業界に関する知識を深めるまなびの場所がありました。内容的には、参加企業の技術説明や参加企業社員との交流会など色々あります。未来 COLLEGE の場にブースを展示する会社はすべて今回のセミコンジャパンのスポンサーで、ほぼ半導体製造装置のメーカーです。

Platinum Sponsors



Gold Sponsors



スポンサーの会社

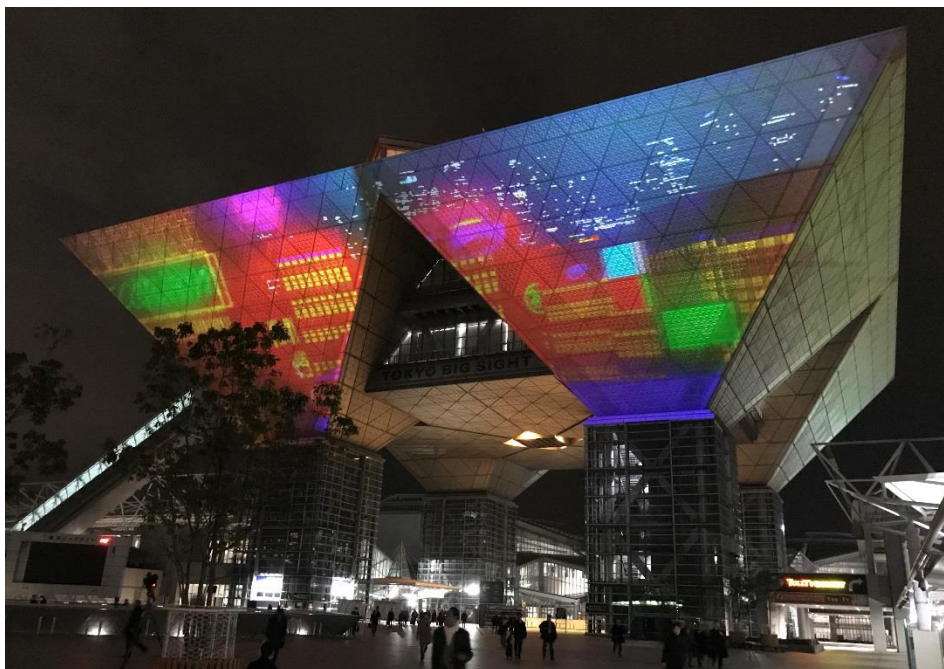
私は企業社員との交流会に二回参加しました。技術職の話だけでなく、営業、広報の職にいる先輩たちが色々お話をしてくれました。交流会のほかに、各社の技術説明会もいくつも参加しました。一番印象があったのは、東京エレクトロン社です。半導体製造装置産業では、日本では一番の会社で、世界では四番の会社です。毎年の研究開発費は売上の 10%以上を占めしているとのこと。確かに、技術企業では、創造力は利益の源ですね。



未来 COLLEGE セミナー

帰りに

この前に、出張でお台場に寄ったことがありましたが、東京ビッグサイトを遠くから見ていただけで、入らなかったのです。今回、幸いにもう一回出張で入ることができて、非常に楽しかったです。見学では、いろいろな会社のブースを見学し、社員さんに話をかけたり、説明会を聞いたりしまして、学校で取れない情報をいっぱい取りまして、本当に勉強になりました。会場を離れた時に、丁度見られました夜の綺麗な東京ビッグサイトの写真で今回の報告書をお終わりにさせていただきます。



東京ビッグサイト

謝辞

今回セミコンジャパン 2017 を参加させて頂きました小林春夫先生、
未来 COLLEGE の登録に関する手配を行って頂きました SEMI ジャパンの吉田さん、
また、小林春夫研究室ブースにお立ち寄り頂きました皆様に
誠に感謝申し上げます。